

北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.19 2011/03/07

「北方かわらばん」は、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所（旧・北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。

ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。

アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

今月号のトピックス

第19号の内容はこちらです。

■イベントのお知らせ

- 調査研究発表会（旭川）の開催について

■特集 「構造計算適合性判定」のめざすもの

■研究紹介 「構造計算適合性判定センターにおける調査研究」

■最近の研究所の動き

- 「北総研意見交換会（胆振）」を開催しました
- 「公共建築物等に木材を利用するために～2011木製サッシフォーラム」を開催しました
- 「モンゴルの建築関係技術者が北総研を訪れました」
- 「北海道寒冷地技術セミナー」を開催しました
- 2月の業務報告

■北総研からのお知らせ

- 構造計算適合性判定センターから

断しなければなりません。そこで、各種プログラムの出力結果の差異や設計者判断に対する指摘事項を整理し、構造審査者や構造設計者の方々の参考になるようホームページ等を通じて情報提供しています。

<http://www.nrb.hro.or.jp/nrbc/kenkyuuseika.html>

(2) 勉強会による情報共有

審査者同士の審査技術情報の共有はそれぞれの業務に役立つため重要です。毎年、各特定行政庁の建築主事や構造審査担当者の方々にお会いし、構造審査や関係法令規準に関する勉強会や、審査上の問題や疑問についての意見交換を実施しています。ここで集約した意見や審査上の疑問は、さらに整理分析してまた発信されます。

このような調査研究や情報交流により、判定担当者は構造審査を担当する方々とともに常に審査技術の向上をめざし、厳正適確で一貫性のある審査を迅速に進めるよう努めています。

(構造判定 G 十河)

最近の研究所の動き

■【「北総研意見交換会（胆振）」を開催しました】

2月1日（火）に室蘭市において、北総研意見交換会を開催しました。

この意見交換会は、北総研が取り組む研究及び成果の普及、技術開発支援等に関して建築関連団体と意見交換を行いニーズを探ることを目的として開催しているもので、今年度3箇所目の開催となりました。

建築関係団体から5団体11名と民間企業から1社1名、管内市町村から3市4名、胆振総合振興局から3名の方にご参加いただきました。

胆振の意見交換会では、地域資源を活用した地域の活性化をテーマとして、北総研と連携した取組事例（製品開発事例）をあいもり株式会社の小松様からご紹介いただいた後、北総研環境科学部の吉野研究主幹から現在北総研で実施している地域資源を活用した共同研究事例を紹介しました。

意見交換では、北方型住宅E C O普及の原動力となった国の補助制度（長期優良住宅先導事業）を原動力に普及に弾みがついた、今後の北方型住宅や北方型住宅E C Oのあり方、今後の住まいづくりが話題の中心となりました。

そのなかで、世の中に「次世代住宅」「北方型住宅」「長期優良住宅」など色々な言葉がありすぎて、ユーザーがわかりにくい、といった意見がありました。

発行：（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所